

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長

報告者 氏名 新田 真一

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者 新田 真一

経理担当者 新田 真一

期 間	2026年 2月12日（木） 14:00～17:00
用 務 先	エディオンピースウィング [※] 広島
用 務	芸備線研修会
概要及び所見	～ローカル線活性化と沿線地域・自治体の関わりを考える～ 「廃線危機から延伸へ 三位一体で活性化」 ひたちなか海浜鉄道の社長 「交通政策と都市政策の融合」富山市の事例 前富山市長 「国内外の事例を踏まえた地方鉄道の在り方」大学教授が報告 「データで読み解く芸備線再生の可能性」大学教授の報告 4講座を聞いた。 地方の鉄道が経営の悪化から廃線に追い込まれている現状のなかで、鉄道会社が地域との協力・連携によって、再生を果たせたこと。地方自治体が、交通政策の推進として鉄道を活用していく、すぐに鉄道の黒字化にはつながらないが、住民の生活をささえ都市政策のための投資として考える。それは未来への投資である。といった内容が印象的であった。 芸備線の存続においても、地域・自治体との連携は必至であり、地域の観光・産業・生活と密着して取り組む必要を再認識した。 最後に芸備線の再生の可能性では、1日8000人と乗降客数が最も多い広島近郊の路線が、1キロあたりの営業損益が最も高いのは意外いであった。確かな経営の在り方も地自体が鉄道に迫る必要もあるのかと考えた。